

# 主要な4つの帳票

## 詳細マニュアル

### 1 家計改善支援に必要な4つの帳票

相談時家計表	まず家計状況を把握するために作成するもの
家計計画表	相談時家計表をベースにした月額予算書
ライフイベント表	家族一人一人の収入や支出をまとめたもの
キャッシュフロー表	1～3年まで月々の家計の動きをまとめたもの

### 2 各帳票の意味と役割

相談時家計表	<ul style="list-style-type: none"><li>○ 相談者の生活そのものの現状を月次のお金の動きとして家計収支に集約したものです。</li><li>○ 家計改善支援員は相談の最初に相談時家計表の作成を通して相談者の暮らしを理解していきます。相談者と一緒に家計表を作成する共同作業を通して、信頼関係を形成することが大切です。</li><li>○ 相談者が家計生活を振り返ることができ、その結果として、把握できていなかった内容を意識しつつ、大まかな家計収支の月額が把握できればよいものです。</li><li>○ 家計簿のように収支の詳細を把握するためのものではなく、家計の収支全体のバランスが取れているかどうかを掴むことが狙いなので、精度に拘って細部を追及する調査員のように聞き取ってはいけません。</li></ul>
家計計画表	<ul style="list-style-type: none"><li>○ 解決方針などを相談した後に作成する、月額予算書のようなものです。</li><li>○ 「相談時家計表」をベースに、相談者の現状もしくは確実に予定できる収入に基づいて、相談者の暮らしの必要に合わせ、毎月の家計の目標数値になるように一緒に作成します。</li><li>○ 相談者本人がどうしたいのか、何を望んでいるのかを基本に、現状の家計を改善するための方針や、初回面談以降に見直した支出の目標金額などを反映します。</li></ul>

#### ライフイベント表

- 家族全員の収支に関する人生の出来事（ライフイベント）とその時期・金額をまとめたものです。
- 相談者が自分のありたい将来の姿と現実にかかる将来の出費や収入を書き込んで作成します。

#### キャッシュフロー表

- 予算書としての「家計計画表」を基に家族のライフイベントによる収支の変化を反映させて、1～3年先までの家計予算の月末残高の推移が見えるようにした表です。困窮している相談者は経済情勢の影響を受けやすいため、1年程度での見直しが必要です。
- 年間行事や進学など、暮らしの変化や必要性に合わせた収支の変化など、相談者が将来の家計収支予算を見ることができるよう作成します。
- 今後時間の経過とともに、月々どの位の費用（お金）が必要か、家計の過不足はどのように発生するのかをあらかじめ予測しながら生活していく必要性を相談者自身に確認してもらうことが可能で、相談者が自己管理できるように作成された相談者の暮らしの行程表と言えます。